

子育てのじ

(16)

インフルエンザは予防が大切
よく風邪をひいたと言い
ますが、インフルエンザと
普通の風邪は似ています。

インフルエンザはインフルエンザウイルスが引き起
こし、40度近い高熱や関節等の痛みを伴い、肺炎、気管支炎、脳症、心筋炎、中耳炎等の合併症があり、大きな被害や生命の危険があり、小さな子どもや大人にとっても決して軽い病気ではありません。一方、いわゆる「風邪」

今月は、障害者の人の医療助成制度があります。障害は身体障害、知的障害、精神障害の人は「心身障害者医療費公費負担制度」を参考にしてください。

制度(通称)マル障

△対象者▽

国民健康保険・社会保険

制度(通称)マル障

△対象者▽

△対象者▽</p

「ふれあい集会」開催

千人
300人
久しぶりの再会

第7回

り組みの説明があり、村か
らは帰島に向けた今後の取
り組み方について説明が行
われました。

7回目となる「三宅島島民ふれあい集会」が11月24日に港区立芝浦小学校、幼稚園において開催され、あいにくと曇りで肌寒い日だったにもかかわらず、関係者を含め約300人の方々が参加しました。

集会会場には島民やボランティアによる食べ物テン

トコーナー。また、村、東京都、三宅島警察署などによる各種相談コーナー、災害復旧のパネル展示。ほかには三宅村立小中学校などによるイベントコーナーが設けられ、来場した島民は久しぶりに会う地域の人同士と会話も弾んでいたよう

です。

校舎内やステージでは伊

ケ谷獅子舞、神着木遣太鼓が披露されたほか、島民に

秋川校舎での4回目の秋。うららかな晴天に恵まれた11月16日(日)、小・中・高合同文化祭が開催されました。中学校の舞台発表では、トーンチャイムが演奏され、1人が一つか二つの音階を担当し、澄んだ音色が重なって美しい和音が奏でられました。曲目は「埴生の宿」「ふるさと」「トウモロコ」で、それぞれの曲の前には、作文の朗読がありました。三宅島での数々の思い出、避難時の気持ち、帰島に対する思い、進路や将来のこと、短い文の中には生徒の心情が込められていて、目頭を熱くした人が多かったようです。展示発表では日ごろの授業や文化部活動の作品を中心とした写真も合わせ、分かり

り組みの説明があり、村か

らは帰島に向けた今後の取

り組み方について説明が行

われました。

会場となった体育館では、

気象庁地震火山部、火山噴

火予知連絡会による最新の観測データから三宅島火山

活動に関する解説が行われました。

また、10月に「三宅島帰島プログラム準備検討会」

が設置されたことを受け

て、東京都総合防災部から

三宅島の現状と東京都の取

三宅村学校便り

(31)

小・中・高校「合同文化祭」

心に、学習成果が展示され

ました。生徒の評価が特に

高かったのは、選択美術の

国語科と美術科と一緒に指

導した俳画も味わい深いも

の木工作品でした。また、

精巧なアクリル画と技術部

の木工作品でした。また、

国語科と一緒に指

導した俳画も味わい深いもの

が重なって美しい和音

が奏でられました。曲目は

「埴生の宿」「ふるさと」「

トウモロコ」で、それぞ

れの曲の前には、作文の朗

読がありました。三宅島で

の数々の思い出、避難時の

気持ち、帰島に対する思い、

進路や将来のこと、短い文

の中に生徒の心情が込めら

れていて、目頭を熱くした

人が多かったようです。



トーンチャイムの演奏

やすいと大変好評でした。中学校は今年度から三宅島に、学習成果が展示されました。生徒の評価が特に高かったのは、選択美術の国語科と一緒に指導した俳画も味わい深いもの

が重なって美しい和音が奏でられました。曲目は「埴生の宿」「ふるさと」「トウモロコ」で、それぞ

れの曲の前には、作文の朗読がありました。三宅島で

見れる人も多く、人気を集めました。生徒の評価が特に高かったのは、選択美術の国語科と一緒に指

導した俳画も味わい深いもの

が重なって美しい和音が奏でられました。曲目は「埴生の宿」「ふるさと」「トウモロコ」で、それぞ

れの曲の前には、作文の朗

読がありました。三宅島で

冬季は、暖房の使用などによってエネルギーの消費が最も増大する時期です。エネルギーを多く使う時期だからこそ、エネルギーができるだけ効率的に使うために、家庭や学校、職場で

も省エネの工夫をし、実践したいものです。例えば、暖房の設定温度は20度に。部屋を暖めすぎないで、衣類で調節するなどもう一工夫してみませんか。

冬の省エネに一工夫

『3つの習慣』
△寝タバコは絶対やめる
△ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使
用する。
△ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

△お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

△寝具や衣類からの火災を防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。

△逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する。

『4つの対策』
△寝タバコは絶対やめる
△ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使
用する。
△火災を小さいうちに消すために、住宅消火器等を設置する。

△お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

このコーナーでは未来を担う三宅の子どもたちを紹介します。掲載にご協力いただいた方は保健福祉課保健係☎03(5320)7827までご連絡ください。

テレビゲームが得意です。

す。笑顔がかわいいです。

井澤幸男さん、ユリさん

ご夫妻(坪田)のお子さん

です。

テレビゲームが得意で

す。笑顔がかわいいです。

井澤幸男さん、ユリさん

ご夫妻(坪田)のお子さん